

常光寺々報

2024. 2

春季彼岸会法要

三月十七日(日)

朝十時～十二時

昼一時半～三時半

武蔵野大学 教授

講師 前田 寿雄 先生

※お経本とお念珠をお持ちください。

昼食にコンビニおにぎりの販売を

いたします(1個百円)

花まつり 四月七日(日) 十時半～

お釈迦様のお誕生日を、お祝いしま

しょう。

大掃除 四月二十一日(日) 九時半～

年に一度の本堂の大掃除をいたします。

どうぞお手伝いをお願いいたします。

御講師の前田先生はコロナが流行り

始めた年の春季彼岸法要に前住職がご

出講をお願いしておりましたが、この

法要はコロナにより中止となった最初

の法要でした。また次の機会にと思っ

ている間に、早いもので以来四年の年

月が過ぎ、前住職は亡くなりました。

明日ありと思ふ心の仇桜

夜半に嵐の吹かぬものは

この歌は親鸞聖人お得度の折、既に

夜だったので明日儀式を行おうと言わ

れ、返答に詠まれたと伝わる和歌です。

「桜は明日見ればいいという心が仇

になって、桜を見る事ができないこ

とがある。夜中に嵐が吹かないとどう

して言えますか？」

明日があるとは限りません。どうぞ、

一たび一たびのご縁を初事のご縁、今

生最後のご縁と大切にされ、ご聴聞い

ただきますよう、ご案内申し上げます。

お知らせ

能登半島地震への義援金募集を、

今回もお賽銭箱を募金箱として行

います。

期間は春のお彼岸終了までとなり

ます。ご協力をお願いいたします。

護持講をお納めいただいた方へ返

礼品としてお線香をお渡ししてお

りました。昨年より、返礼品は終

了とさせていただきます。

● 毎年、門徒講・護持講の決算報告書

を郵送させていただきますが、ペ

ーパース化の流れもあり、昨年よ

り取り止めとさせていただきますお

ります。

● お彼岸法要の日には掲示させてい

ただき、紙でお求めの方はお持ち帰

りも用意しております。おまいるの

際にご覧ください。ご連絡いただけ

れば郵送対応もいたします。

庫裡の建て直し

以前にもお伝えしていますが、現在庫裡のリフォームを計画中です。

本堂の改修に続き2度目ですが、素人故、業者さんの専門用語が理解できず、一々聞き返しながら話し合い、誤解をしたり、解かれたりをしております。なるほど、ご法話もこういう風に通じているようで通じてない、相互理解が出来てないことがあるのだなど実感しております。



住職姪 ののか画

五十余年前に皆様のお力添えにより建築された庫裡ですので、この度もご支援をお願いしたく思います。

一年前から複数の会社と相談しながら、現在最終段階にきております。詳しく

はまた後日、改めてお知らせします。



お線香

年初に元総理大臣のお宅が火事になったことは皆さんご存じだと思いますが、その火元が『お線香』だといわれています。昔からロウソクとお線香は火事の原因として言われ続けているものではあります。危険だからと遠ざけてしまったことで危険への対処能力が薄れてしまったようにも思います。

今どきの台所はIHで暖房もエアコン等、お家に火がなく、火を実際に見たことのない子供もいるとか。

改めてお線香の使い方について、ひとつ注意喚起をさせていただきたいと思えます。

浄土真宗ではお線香を立てる理由がありませんのでねかせてお参りいたしますが、お他宗ではお線香は立てることが多いようです。お線香を立てる場合、一見、消えたように見えても外か

ら見えない灰の中で、燃え続けているお線香の近くに新たにお線香を立てると、下から火が燃え移り倒れます。

言われれば当たり前のことですが、気が付かないといつまでも気が付かないままで、火事の火種になりかねません。刺さり甘いのも同様です。

ご門徒の皆さんのお宅にお焼香に来られた方がお線香を立てておられたら、その方がお仏壇の前から離れた後に、そっと立っているお線香をねかせるとよいかと思えます。

知らないことは怖いことです。ですが、火は怖いものでもありますが、無くてはならないものでもあります。

「知らないことを恐れるのではなく、知ることを楽しめ」とは先人たちからの金言です。

怖いモノほどよく知って、不安を安心に変えていきたいものです。